

「申請書等の記入上の注意事項」

1 貸付申請書(別記様式第1号)について

記入例を参考に、連帯保証人欄以外は基本的に申請者となる学生本人が記入してください。

- ・貸付申請期間は、**令和7年4月から修学年限**までとします。
- ・借用希望金額は、**下表の月額分と加算分を上限とする希望金額**を記入してください。なお、加算の内訳は**入学準備金20万円以内（1年生のみ）、就職準備金20万円以内（卒業年度のみ）**になります。

	2年制養成校	3年制養成校	4年制養成校
1年生	(ア)月額分120万円+(イ・ウ)加算40万円=総額160万円	(ア)月額分120万円+(イ・ウ)加算40万円=総額160万円	(ア)月額分120万円+(イ・ウ)加算40万円=総額160万円
2年生	(ア)月額分60万円+(ウ)加算20万円=総額80万円	(ア)月額分120万円+(ウ)加算20万円=総額140万円	(ア)月額分120万円+(ウ)加算20万円=総額140万円
3年生		(ア)月額分60万円+(ウ)加算20万円=総額80万円	(ア)月額分120万円+(ウ)加算20万円=総額140万円
4年生			(ア)月額分60万円+(ウ)加算20万円=総額80万円

エ. 就職準備金のみを希望する方は、これまでア～ウの借受がなく新たにア～エの併用申請もできません。

- ・返還方法については、返還となった場合を想定して、該当するものに○を付してください。
- ・奨学金や他の貸付金を受けている又は申請中(結果待ちの場合も含む)の場合は、その貸付金の名称、利用予定期間、借受予定金額(総額)、返還予定期間を記入してください。例・日本学生支援機構の奨学金(給付型、貸与型等)
- ・家族の状況欄には、**生計を一にする方**を記入してください。**住民票に記載があっても生計を一にする方でなければ、記入しなくて構いません。**
- ・所得金額欄は、源泉徴収票(写し)の場合は「**給与所得控除後の金額**」、確定申告書(写し)の場合は「**所得金額の合計**」額、市町発行の課税証明又は所得証明(原本)の場合は「**所得金額合計**」額を記入してください。申請年度の所得証明書類がない場合は、前年度(あるいは直近の年度)の証明書類でも構いません。
- ・連帯保証人は、**1名(生計を別にする成年)**を記入してください。別紙「連帯保証人の選定について」を参照のうえ、返還免除又は返還完了となるまでの期間、借受者と連帯して債務を負える方を連帯保証人としていただくようお願いします。また、連帯保証人の記載欄は連帯保証人本人が自署にて記入してください。
- ・本人以外の連絡先欄は、本貸付申請の内容について確認ができる方の連絡先を記入してください。

2 離職証明書等について

- ・中高年離職者(養成施設への入学時に**45歳以上で離職後2年以内の方**)が申請する場合は、離職後2年以内であることを確認できる離職証明(離職票等)の書類が必要となります。

3 その他

- ・申請にあたっては、社会福祉法人栃木県社会福祉協議会個人情報保護規程をお読みの上、同意願います。
- ・応募状況によっては、選考の上借り受けできないこともありますので、あらかじめ御了承ください。
- ・生活保護受給世帯の方又はこれに準ずる経済状況にある世帯の方で、「高等教育の修学支援新制度」をご利用予定又は生活費加算の上乗せをご希望の方は、栃木県社会福祉協議会 とちぎ保育士・保育所支援センターまでお問い合わせください。(電話 028-307-4194)